



人がつながる



“移動”イノベーション

ゆっくり自動運転[®]のチャレンジ

Sloca Self-driving System

研究成果報告 「インテレクチャルガラス」

バイオデバイス加工グループ
小野島 大介

名古屋大学 未来社会創造機構 特任講師



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN



国立研究開発法人
科学技術振興機構
Japan Science and Technology Agency



名古屋大学
NAGOYA UNIVERSITY

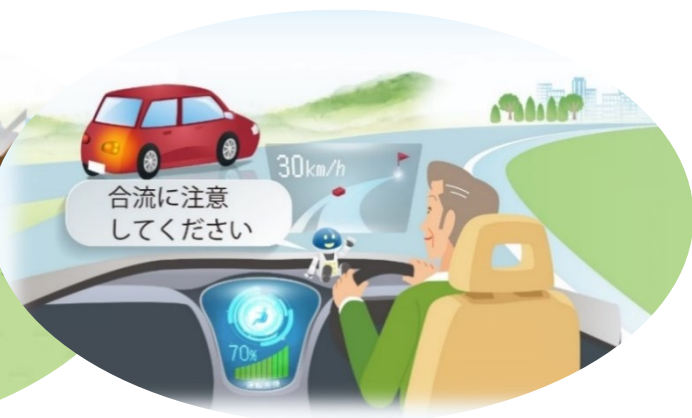
ゆっくり自動運転®



コミュニティ・サポート・システム (CSS)



ドライバエージェント



今日の榮アプリ (外出促進コンシェルジュサービス)



インテレクチャルガラス



歩行支援ロボット



安心・安全に使える
車と運転支援

高齢者が元気になるモビリティ社会

くらし・健康
基盤研究

インテレクチャルガラス

バイオエアロゾル（細胞、エクソソーム、ウイルス）から生体成分を計測するガラスデバイス開発を進め、より迅速で高精度ながん検査や衛生検査を実現し、高齢者が元気になるモビリティ社会の健康インフラを創出する

お出かけしたくなるような
身体と気持ち

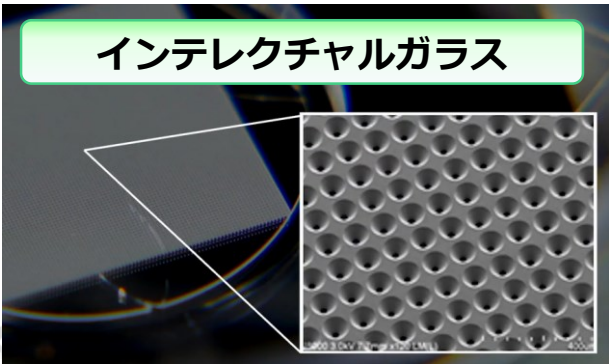
共助と自尊心が生まれる
場と仕組

高齢者が元気になるモビリティ社会

- 共助と自尊心が生まれる
参加型社会
- 安心・安全に使える
車と運転支援
- お出かけしたくなるような
身体と気持ち

問題：がん発症者が、抗がん剤治療の過程で受ける検査は
体への負担が大きく、頻繁に受けることができない。
そのため**治療の効果を的確に知ることが難しい。**

価値：**がん検査デバイス**があれば、**がんの特徴や**
治療効果を簡便に検証できるようになる。より適切
な薬を選ぶことで、抗がん剤による副作用が減り、
がんを発症してもそれまでの**日常を壊さず**に、**安心**
して生活を送ることができるようになる。



バイオエアロゾル計測技術開発
血液検査、用水検査応用開発



- 日常診療ベッドサイドデバイス
(がんマーカー診断)
- 医薬品工場衛生管理デバイス
(ウイルス検査・微生物試験)